



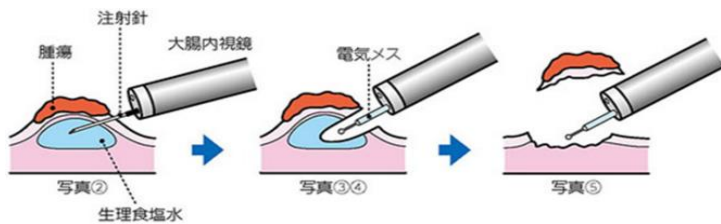
早期の消化器癌や胆のう結石などは、開腹することなく内視鏡で治療することができます。当院では患者様への負担が少ない内視鏡的治療を積極的に導入し、安心・安全な医療を推進しております。

ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）

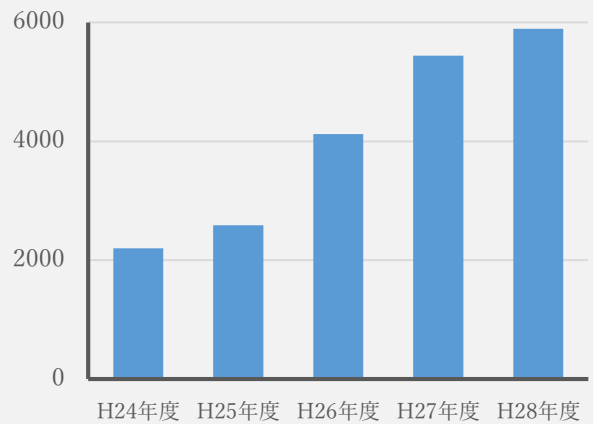
ERCPは、内視鏡を用い十二指腸の乳頭部から造影剤を注入し、胆管・膵管等を造影する検査です。ERCPの技術を用いた乳頭切開術、胆管ドレナージ術、胆嚢ドレナージ術、胆管結石の碎石および採石術治療など、開腹手術を行わず、内視鏡での治療を積極的に行っております。

ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）

早期がんに対する低侵襲治療としてESDを導入しております。当院では拡大内視鏡を駆使し、診断精度上昇により早期発見にも努めています。外科的手術に比較して、入院期間も少なく、体の負担も少ないのが特徴です。



内視鏡検査・治療実施件数



リハビリテーション科の紹介

《当院のリハビリ》

当院のリハビリテーション科は、消化器を中心とした内科、外科の急性期はもちろん、当院診療科目である呼吸器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科（人工透析）、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科など幅広い患者様へのリハビリテーションを実施しています。

また、急性期から慢性期の患者様への継続的なリハビリや、早期で安心な在宅復帰のための支援、在宅復帰後の外来リハビリ、訪問リハビリサービスの提供など、入院時から退院後も含め、すべての時期において、その時に必要なサービスを提供できるように取り組んでいます。

医師の指示に基づき、入院患者様の疾患や心身の状態に合わせて、心身機能及びADL（日常生活動作・活動）の維持や改善に向けて、リハビリテーションサービスを提供しています。特に、内科的または外科的治療の経過や術前・術後における『合併症の予防』『廃用症候群の予防』『早期の在宅復帰に向けた支援』に力を入れて、サービスを提供しています。

《スタッフ》

理学療法士20名 / 作業療法士9名 / 言語聴覚士4名 / 助手1名

上記リハビリ専門スタッフは、各国家資格に加え、各専門分野における認定資格取得者も多数おり、常に最新で専門性の高いサービスへの提供に向けて取り組んでいます。



イムス札幌消化器中央総合病院の
ホームページをご存知ですか？

イムス札幌

検索

当院のホームページでは、外来担当医表や休診情報、医療公開講座の開催など最新の情報を掲載いたします。